

2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成 資金分配団体公募 採択事業

事業名 主題	社会的脆弱性の高い子どもの支援強化事業
事業名 副題	—
対象地域	全国
団体名	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
代表者名	理事長 井田 純一郎
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動;①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子供の支援;②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援、2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動;⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
事業の概要	脆弱性が高い層の子どもを対象に、実行団体への助成支援を通じて、①子どもの食の状況を改善する、②子どもの学びの機会の格差を是正する、③子ども虐待のリスクを軽減し、虐待を受けた子どもの保護を強化することを実現する。上記①から③に取り組む子ども支援施設や居場所の環境を整備し、子どもがより安心・安全で過ごせる場所を確保する（特に感染症予防のための衛生管理、こころのケア、その他必要な設備の拡充など）。実行団体については、上記①から③の活動のいずれかを実施するか、①を含んだ包括的な事業を実施することなどを想定している。
事業期間	1年
助成額（円）	213,205,720

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題設定が明確で、課題解決に向けたシナリオ（実行団体の事業内容）も明確です。一人親家庭や外国人労働者など弱い立場の子どもの課題に対し、食の改善、学びの機会の保障、虐待リスクの軽減を通じたアプローチは妥当と考えます。 ・ 取り残されがちな対象のあぶり出しができており、緊急性の高い対象を優先的に選定できていると考えます。 ・ 交流型でなくハイリスク対応型の活動支援として期待できると思います。支援内容の報告と共に、当該団体の持つ提言力をいかした国や社会に対する問題提起も期待します。 ・ 実績が豊富であり、迅速で適切な支援を期待できると思います。 ・ 現金給付を除けば、事業は適切と思われます。30団体助成想定で総額を見直していただきたいと思います。
--------	--

※審査コメントは、審査時点（2020年7月初旬）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2020年8月中旬）のものです。